

白拍子

+

ジャワガムラン

月影之川
つきかげのかわ

Benewi awewayangwulan

9/30 (土)

開場時間 / 16:00 開演時間 / 16:30 料金 / 3,500円

場所 / 松本記念音楽迎賓館 (東京都世田谷区岡本2-32-15)

ご予約・お問合せ / まきこの会事務局 (makikoclub2022@gmail.com) 会場へのアクセスはこちら ▶



出演者

白拍子 .. 桜井真樹子
ジャワガムラン ..
木村佳代、森重行敏、小谷竜一、加藤駿吾

(ガムラシングループ「ランバンサリ」有志)



ジャワの広大な

ソロ川にたゆとう月の影。
月影のきらめく音、

揺らぎ舞う光。

雨があがればこの川も、
ぼくたちの友情に
虹をかけてくれるだろう。

今も歌い継がれる「ムーン・リバー」の歌詞を インドネシアの三つの言語で歌い舞う組曲。

「ムーン・リバー」は、小説「ハックルベリー・フィンの冒険」を歌っています。「困難な家庭から逃れるハック」「奴隸所有者から逃れるジム」二人は、ミシシッピーの川下りを始めます。お互いの心の悩みは違っていても、広大な川は二人に冒険をさせ、友情を育ませました。ジャワに流れる広大な川も、人々の悩みがゆえに人生の冒険を誘い、一人の人間に友情を与えるでしょう。今年の仲秋の名月に川に映る月影に思いを馳せて。

「ムーン・リバー」の歌詞を古ジャワ語、ジャワ語、インドネシア語に翻訳し、ジャワ・ガムランと共に平安時代の白拍子の旋律と舞による創作曲の初演・共演です。

つきかげのかわ

月影之川組曲

古ジャワ語「Benawi awewayang wulan」

日本語と日本古語「ハックルベリー・フィンの物語」「月影之川」

ジャワ語「Kali lelayang bulan」

インドネシア語「Sungai berbayang bulan」

東急線「二子玉川」駅、小田急線「成城学園」駅からのバス停ご案内



profile



桜井真樹子(白拍子)

龍笛を芝祐靖に、天台宗大原流声明を中山玄晋に師事。1997年「もののけ姫」のエボシ御前を見て、白拍子の復元を始める。雅楽の左舞、インドネシア舞踊の「スリンピ」を学び、全国の中世の舞踊を現地調査し、白拍子の歌謡に振り付けを考案していく。「髪多々良(びんたら)」「水猿曲(みずのえんきょく)」「蓬萊山(ほうらいざん)」「廻惚(かいこつ)」など、20年に渡り公演を続ける。また2007年より創作能「マンハッタン翁」「橋の姫」「岸辺の大臣」などを発表。2019年よりハイバー能「沖縄平家物語」「睡蓮」「投石」を発表する。

まきこの会 <https://www.sakurai-makiko.com/>
ホームページ <http://www.zipangu.com/sakurai/>



ランバンサリ有志

(木村佳代、森重行敏、

小谷竜一、加藤駿吾、)

インドネシア中部ジャワのガムランを演奏するグループ。1985年結成以来、自主公演や各種イベントへの出演、学校の芸術鑑賞会、講座開催など幅広い活動を行っている。インドネシア、マレーシア、韓国での公演のほか、TV「題名のない音楽会」「タモリ俱楽部」などに出演。インドネシアの人気女形舞踊家ディディ・ニニ・トウオ氏、ワヤン人形遣いブルボ・アスマロ氏、マンクヌガラン王宮の音楽家ハルトノ氏、ウミヤティ氏、舞踊家ダルヨノ氏を招聘し共演。DVD:「万華鏡」(JMVK-1002)CD:「浜松市楽器博物館コレクションシリーズ44 ジャワガムラン～インドネシア中部ジャワ 青銅打楽器の輝き」(JMCD-1972)
<http://www.lambangsari.com/>

古いジャワ語、ジャワ語、インドネシア語翻訳:ローフィット・イブラヒム